

第89期

中間報告書

(令和3年4月1日から)
(令和3年9月30日まで)



中日本興業株式会社

令和3年12月

株主の皆様へ

中日本興業株式会社

代表取締役社長 服部 徹

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は第89期第2四半期累計期間（令和3年4月1日から令和3年9月30日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績ならびに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

目 次

事業の概況	2
四半期貸借対照表	5
四半期損益計算書	6
会社の状況	7
「株主ご優待券」について	10
株主メモ／株式等に関するマイナンバーのお届けのお願い	

事業の概況

当第2四半期累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルスの変異株の流行により、ほとんどの期間で「緊急事態宣言」等が発出されており、引き続き行動の自粛を求められるなど、個人消費や企業活動に影響がおよび、大変厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防するため、引き続きマスクの着用、アルコール消毒液の設置、サーモグラフィーによるお客様の体温の確認、施設内の換気などの徹底した対策を施すことで、お客様が安心してご利用いただける環境を提供してまいりました。

この結果、売上高は13億11百万円（前年同期比119.7%増）、営業損失は1億54百万円（前年同期は営業損失3億5百万円）、経常損失は1億10百万円（前年同期は経常損失2億55百万円）、四半期純損失は84百万円（前年同期は四半期純損失2億60百万円）となりました。

なお、中間配当金につきましては、11月11日開催の取締役会にて、当社の配当方針に則り、1株当たり30円とし、支払開始日を12月2日と決定いたしております。ご理解賜りますようよろしくお願いいたします。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

【シネマ事業】

当事業では、同感染症拡大の影響で、政府、自治体および関係団体からの感染予防対策のガイドラインに従い、営業時間の短縮、販売座席数の制限を設けての営業を行ってまいりました。

洋画の大作が公開延期されるなど、邦画・アニメ中心の興行となり、全体としては大変厳しい成績でした。

当上半期の主な上映作品としまして、邦画では、4月・6月公開「るろうに剣心」2部作、7月公開「東京リベンジャーズ」、9月公開の「マスカレード・ナイト」、洋画では、7月公開「ゴジラvsキング」、「ブラック・ウィドウ」、「ジャングル・クルーズ」、8月公開の「ワイルドスピード/ジェットブレイク」、アニメでは、4月公開「名探偵コナン 緋色の弾丸」、6月公開「機動戦士ガンダム 閃光のハサウェイ」、7月公開「竜とそばかすの姫」、8月公開の「僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ワールドヒーローズ ミッション」、ODS(映画以外のデジタルコンテンツ)では、4月公開「あんさんぶるスターズ! DREAM LIVE - 5th Tour Stargazer -」、

8月公開の「うたの☆プリンスさまっ♪『SHINING STAR STAGE』 - LOVE in DREAM -」などの番組を編成いたしました。

その他に、お客様参加型のトークイベント付上映会の実施や、映画のサブスクリプション型のサービスに参加をするなど、映画文化のすそ野を広げる活動を始め、8月からはアイドルのライブイベントに加えて、お笑いライブ「よしもと名駅四丁目ライブ」もスタートさせ、バラエティに富んだラインナップを揃えてまいりました。

また、飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェJi.Coo.」、名古屋市千種区の「LA BOBINE ガレットカフェ」では、健康に留意したメニューの追求をするとともに、ゆっくりとお寛ぎいただける空間の創造に努めてまいりました。

この結果、当事業では売上高は12億1百万円、営業損失は1億35百万円となりました。

【アド事業】

当事業は、緊急事態宣言の発令に伴い、イベント等が中止となり地元を中心に受注が減少し、コインパーキング事業に関しても新規案件が減り低迷いたしました。しかし、映画関連については邦画を中心に復調の兆しが見えてまいりました。

この結果、当事業では売上高は1億9百万円、営業損失は18百万円となりました。

今後の見通し

新型コロナワクチンの接種率が上昇し、感染者数も急激に減少し始め、経済活動については、政府の対策等により徐々に回復の兆しが見えてくるものと期待しております。

このような状況のもと当社では、今後も政府、自治体および関係団体からの感染予防対策のガイドラインに従いながら、引き続き安心・安全な環境を提供し、一層のサービス向上に努めてまいります。

シネマ事業では、10月から「緊急事態宣言」が解除されたことに伴い、レイトショーの上映を再開させるなど、営業体制はコロナ前の状態に戻りつつあります。

当下半期の主な上映作品としまして、邦画では、現在公開中の「ARASHI Anniversary Tour 5×20 FILM “Record of Memories”」、12月公開「99.9 -刑事専門弁護士-」、1月公開「コンフィデンスマンJP 英雄編」、2

月公開の「嘘喰い」、洋画では、12月公開「マトリックス レザレクションズ」、1月公開「ハウス・オブ・グッチ」、2月公開の「ドリームプラン」、アニメでは、11月公開「ミラベルと魔法だらけの家」、12月公開「劇場版 呪術廻戦 0」、3月公開の「SING／シング：ネクストステージ」、「映画ドラえもん のび太の宇宙小戦争 2021」、ODSでは、「シネマ歌舞伎」、「MET ライブビューイング」など、幅広いジャンルの良質な作品を予定しております。

また、上質なアート作品をお届けする「アートレーベル」、コアなアニメ作品をお届けする「アニメレーベル」においても、より充実した番組編成をしております。

飲食部門は、食材や製法にこだわったメニューの開発をし、「安全」、「おいしさ」の追求を図っていき、お客様に満足いただける店舗創りに努めてまいります。

10月1日には、「LA BOBINE ガレットカフェ」を「ミッドランドシネマ ドーナツ ファクトリー」に生まれ変わらせ、ふんわりもっちりのドーナツを提供させていただき、映画館においても販売するなど、営業の改善を図っております。

その他、新たな試みとしてスタートしておりました東海エリア発のテレビシリーズとなるアニメ「シキザクラ」につきましても、10月に放映がスタートしております。

アド事業では、「東京営業室」を軸に引き続き映画関連を中心とした営業展開をし、地元案件、コインパーキング事業についても積極的な営業に努めてまいります。

サービス業を営んでいる当社は、新型コロナウイルス感染防止対策をしっかりと対応しながら、より良い商品を提供すること、そして、より良いサービスを提供するための人材育成、教育をすることにより、お客様に選ばれる施設となるよう、一層の精進をしております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りませうようお願い申し上げます。

四半期貸借対照表

(令和3年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	1,122,732	流 動 負 債	494,492
現金及び預金	591,441	買掛金	234,588
受取手形及び売掛金	142,256	リース債務	42,226
有価証券	300,000	契約負債	34,524
商品及び製品	5,590	未払費用	90,769
原材料及び貯蔵品	5,735	賞与引当金	17,730
前払費用	31,732	その他	74,652
預け金	27,300		
その他	18,675		
固 定 資 産	3,140,230	固 定 負 債	362,659
有形固定資産	(1,823,804)	リース債務	71,922
建物	972,502	退職給付引当金	70,484
構築物	915	長期未払金	21,500
機械装置	48,502	資産除去債務	86,311
器具備品	105,970	受入保証金	112,440
土地	695,913	負 債 合 計	857,151
無形固定資産	(48,752)	純 資 産 の 部	
電話加入権	1,147	株 主 資 本	3,199,567
ソフトウェア	47,605	資本金	(270,000)
投資その他の資産	(1,267,673)	資本剰余金	(13)
投資有価証券	580,997	資本準備金	13
関係会社株式	10,000	利 益 剰 余 金	(3,000,170)
差入保証金	553,516	利益準備金	67,500
長期前払費用	35,310	その他利益剰余金	2,932,670
繰延税金資産	87,849	配当準備積立金	176,093
		別途積立金	2,380,000
		繰越利益剰余金	376,576
		自 己 株 式	(△70,616)
		評価・換算差額等	206,243
		その他有価証券評価差額金	(206,243)
資 産 合 計	4,262,963	純 資 産 合 計	3,405,811
		負 債 純 資 産 合 計	4,262,963

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期損益計算書

(令和3年4月1日から
令和3年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		1,311,412
売 上 原 価		697,240
売 上 総 利 益		614,172
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		768,205
営 業 損 失		154,032
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	5,649	
助 成 金 収 入	38,311	
雑 収 入	1,001	44,963
営 業 外 費 用		
雑 損 失		1,035
経 常 損 失		110,105
特 別 損 失		
固 定 資 産 売 却 損	84	
固 定 資 産 除 却 損	400	484
税 引 前 四 半 期 純 損 失		110,589
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	573	
法 人 税 等 調 整 額	△26,595	△26,022
四 半 期 純 損 失		84,567

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

会 社 の 状 況

■ 会社概要 (令和3年9月30日現在)

商 号 中日本興業株式会社 Nakanihon KOGYO. CO. Ltd.
本 社 名古屋市中村区名駅四丁目5番28号
設 立 昭和29年7月23日
資 本 金 2億7,000万円
従業員数 56名

■ 主要な事業所 (令和3年9月30日現在)

<映画館>

ミッドランドスクエア シネマ (14) 名古屋市中村区
ミッドランドシネマ 名古屋空港 (12) 愛知県西春日井郡豊山町

<飲食店>

覚王山カフェ Ji.Coo. 名古屋市中村区
LA BOBINE ガレットカフェ 名古屋市中村区

<展示装飾および看板の製作、広告代理店>

中日本エージェンシー 名古屋市中村区
中日本エージェンシー 東京営業室 東京都千代田区

(注) 1. () 内の数は、スクリーン数です。

2. 「ミッドランドスクエア シネマ」、および「LA BOBINE ガレットカフェ」は、当社と株式会社松竹マルチプレックスシアターズ（東京都中央区）との共同事業体が運営しております。
3. 「LA BOBINE ガレットカフェ」は、令和3年10月1日に「ミッドランドシネマ ドーナツ ファクトリー」に店名を変更いたしました。

■ 役員（令和3年9月30日現在）

代表取締役社長	服部 徹	感動創造支援本部本部長 経営企画部担当
取締役	貴田 吉晴	感動創造本部本部長 興行部担当 興行部部長
取締役	小塚 康	感動創造本部副本部長 企画営業部担当 企画営業部部長
取締役	山村 知秀	(社外取締役)
取締役	高橋 敏弘	(社外取締役)
常勤監査役	細川 秀樹	
監査役	岡本 安史	(社外監査役)
監査役	田中 誠治	(社外監査役)
執行役員	加藤 康章	感動創造支援本部副本部長 総務部担当 経理部担当 経理部部長 経営企画部部長

ホームページのご案内

当社のホームページにて、事業内容、サービス案内、決算情報等に関する詳しい情報がご覧いただけます。

<https://www.nakanihonkogyo.co.jp/>

中日本興業

検索

■ **株式の状況** (令和3年9月30日現在)

発行可能株式総数 2,000,000株
 発行済株式の総数 530,753株 (自己株式9,247株を除く)
 株主数 2,921名 (前期末比7名増)

■ **大株主** (令和3年9月30日現在)

株 主 名	持 株 数	持株比率
東 和 不 動 産 株 式 会 社	40,000株	7.53%
ト ヨ タ 自 動 車 株 式 会 社	30,000株	5.65%
松 竹 株 式 会 社	20,000株	3.76%
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	5,400株	1.01%
服 部 徹	5,200株	0.97%
廣 野 純 弘	4,392株	0.82%
濱 谷 亘 匠	4,300株	0.81%
岡 本 藤 太	3,700株	0.69%
服 部 敬 徳	3,000株	0.56%
横 山 秀 昭	2,800株	0.52%

(注) 持株比率は、自己株式(9,247株)を控除して計算しております。

■ **所有者別株式分布状況** (令和3年9月30日現在)

所 有 者	株 主 数	比 率	株 式 数	比 率
金 融 機 関	1名	0.034%	5,400株	1.000%
金融商品取引業者	2名	0.068%	43株	0.008%
そ の 他 の 法 人	52名	1.780%	102,700株	19.019%
外 国 法 人 等	0名	0.000%	0株	0.000%
個 人 ・ そ の 他	2,865名	98.084%	422,610株	78.261%
自 己 名 義 株 式	1名	0.034%	9,247株	1.712%
計	2,921名	100.000%	540,000株	100.000%

「株主ご優待券」について

当社の株式1単元（100株）以上を期末（3月末日）および中間期末（9月末日）に保有している株主の皆様に対し、次の要領で「株主ご優待券」を発行いたします。

3月末日現在の株主の皆様は8，9，10月、三ヶ月間のみでご利用いただける「株主ご優待券」および11，12，翌年1月、三ヶ月間のみでご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、6月の定時株主総会終了後、期末報告書に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

9月末日現在の株主の皆様は2，3，4月、三ヶ月間のみでご利用いただける「株主ご優待券」および5，6，7月、三ヶ月間のみでご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、12月初旬に中間報告書に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

発行基準

	使用期間三ヶ月	半 期
	映画＋カフェ	映画＋カフェ
100株以上	5枚 + 1枚	10枚 + 2枚
200株以上	10枚 + 2枚	20枚 + 4枚
300株以上	15枚 + 3枚	30枚 + 6枚
400株以上	20枚 + 4枚	40枚 + 8枚
500株以上	25枚 + 5枚	50枚 + 10枚
1,000株以上	40枚 + 8枚	80枚 + 16枚
2,000株以上	50枚 + 10枚	100枚 + 20枚
4,000株以上	75枚 + 15枚	150枚 + 30枚

ご利用可能施設

映画館		住 所	電話番号
ミッドランド スクエア シネマ	1～7番 スクリーン	名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア 商業棟5 F	(052) 527-8808
	8～14番 スクリーン	名古屋市中村区名駅4-11-27 シンフォニー豊田ビル2 F	
ミッドランドシネマ 名古屋空港		愛知県西春日井郡豊山町豊場林先1-8-501 エアポートウォーク名古屋内	(0568) 39-3911
カフェ		住 所	電話番号
覚王山カフェ Ji.Coo.		名古屋市千種区丘上町1-39 覚王山フランテ2 F	(052) 751-1234
ミッドランドシネマ ドーナツ ファクトリー		名古屋市中村区名駅4-11-27 シンフォニー豊田ビル1 F	(052) 583-5541

※株主ご優待券のご利用については、当社ホームページをご覧ください。
<https://www.nakanihonkogyo.co.jp/company/>

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末配当金3月31日・中間配当金9月30日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告掲載新聞	中部経済新聞
上場取引所	名古屋証券取引所 第二部 (証券コード: 9643)
インターネットアドレス	https://www.nakanihonkogogyo.co.jp/

単元未満株式の買取、住所変更等、 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとされておりますので、お取引のある証券会社等にご照会ください。

なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行で承っております。特別口座の一部お手続き用紙のご請求は、次のお電話およびインターネットにより受け付けておりますので、ご利用ください。

電話 0120-232-711 (通話料無料)

インターネットアドレス <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株式等に関するマイナンバーのお届けのお願い

- 株式等の税務関係のお手続きに関しては、マイナンバーのお届出が必要です。
- お届出が済んでいない株主様は、お取引のある証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いします。
- お手続き方法など詳細につきましては、証券会社等へお問合せください。

